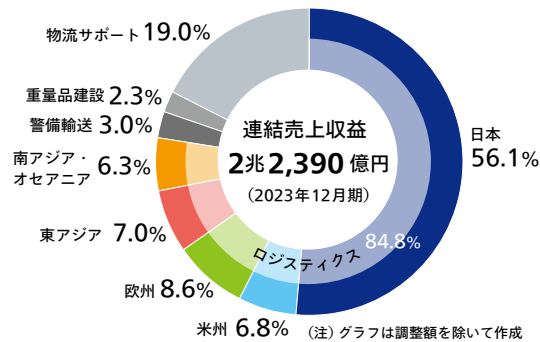


# At a Glance

## セグメント別売上収益構成比



## セグメント別売上収益／セグメント利益 (単位：億円)

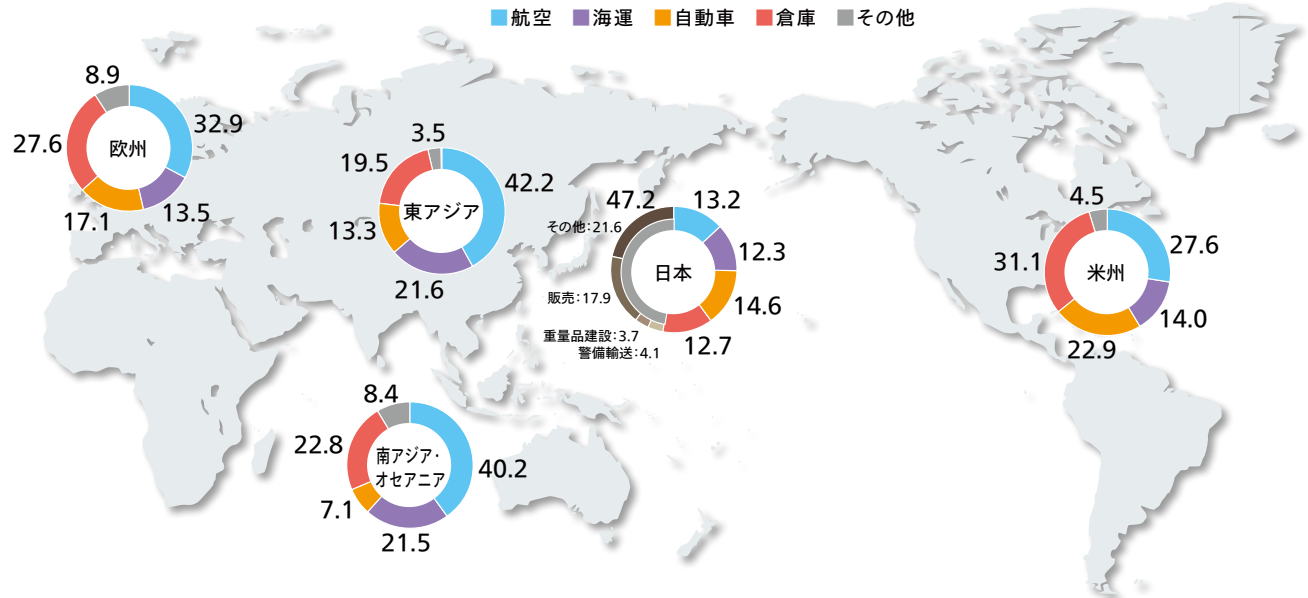
		売上収益	セグメント利益 (事業利益)
ロジスティクス	日本	12,565	485
	米州	1,512	92
	欧州	1,926	98
	東アジア	1,576	37
	南アジア・オセアニア	1,408	83
警備輸送		678	33
重量品建設		511	65
物流サポート		4,258	138

NXグループは、サプライチェーンを効率化・高度化し、モノの経済的価値を高めるため、日本・世界各地において、多様な輸送モードを駆使したさまざまなサービスを提供しています。

## 主要事業・製品およびサービス

セグメント	主要事業										主要製品およびサービス	
	鉄道 利用 運送業	貨物 自動車 運送業	利用 航空 運送業	海上 運送業	港湾 運送業	倉庫業	工場内 運搬 作業	情報 資産 管理業	不動 産業	重量物 運搬 架設 設置業		
ロジスティクス												
日本	●	●	●	●	●	●	●	●	●		鉄道取扱、自動車運送、積合せ貨物、航空運送、海運、引越・移転、倉庫・流通加工、工場内作業、情報資産管理、不動産賃貸、美術品、重量品建設	
米州		●	●		●	●					航空運送、海運、倉庫・流通加工、引越・移転、自動車運送	
欧州	●	●	●		●	●					鉄道取扱、航空運送、海運、倉庫・流通加工、引越・移転、自動車運送	
東アジア	●	●	●		●	●					鉄道取扱、航空運送、海運、倉庫・流通加工、引越・移転、自動車運送	
南アジア・オセアニア	●	●	●		●	●				●	鉄道取扱、航空運送、海運、倉庫・流通加工、引越・移転、自動車運送、重量品建設	
警備輸送											警備業、貨物自動車運送業	警備輸送
重量品建設											重量物運搬架設設置業	重量品建設
物流サポート											物流機器・包装資材・梱包資材・車両・石油・LPガス等の販売業、車両整備、保険代理店業、不動産の仲介・設計・監理・管理業、調査・研究業、ロジスティクスファイナンス事業、労働者派遣業	石油等販売、その他販売、不動産、ファイナンス、その他

## 事業別売上収益構成比 (単位：%)



## セグメント情報

## 日本

## 2023年度の主な取り組み

## 日本通運、新たな医薬品物流サービス「NX Pharma-TC」を開始

日本通運株式会社は、新たな医薬品物流サービス「NX Pharma-TC」の提供を開始しました。

WHO 基準の GDP (Good Distribution Practice) 認証を取得した医薬品専用物流拠点(東日本医薬品センター・西日本医薬品センター・九州医薬品センター)と輸配送ネットワークを活用し、全国の医薬品卸売事業者へ輸送します。

日本国内の医薬品輸送においては、複数の物流事業者が介入するケースが一般的ですが、NXグループは製薬メーカーの製造所から全国の医薬品卸売事業者まで統一・標準化された品質マネジメントシステムによる高品質な物流サービスを開始しました。

## 日本通運、熊本県益城町と「熊本ロジスティクスセンター」建設に向けた立地協定を締結

日本通運株式会社は、「熊本ロジスティクスセンター」建設に向け、熊本県の立ち会いの下、2023年5月19日に益城町と立地協定を締結しました。

熊本県では今後、半導体関連企業の集積が予想され、物流需要も急速に増加することが見込まれています。これに対応するため、新たな倉庫「熊本ロジスティクスセンター」を益城町に建設し、2024年4月に稼働を開始しました。この倉庫は、最新の物流システムと豊富な経験を持つ日本通運のノウハウを結集し、半導体関連産業などのお客様へ高品質な物流サービスを提供する拠点として、熊本県および益城町の強力な支援体制の下、現地における雇用の創出など地域の発展に寄与することを目指しています。

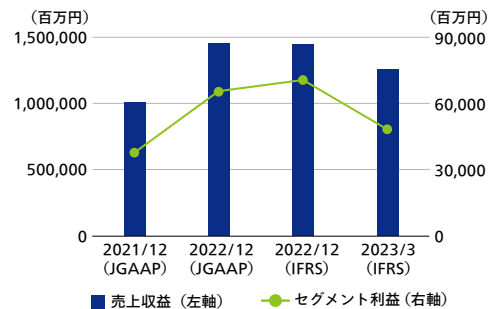
また、これに先立ち、2023年3月1日に熊本市に「熊本半導体事業所」を開設し、営業を開始しました。半導体サプライチェーンに対して End to End のソリューションをグローバルに展開するため、お客様のビジネスをサポートする体制をさらに拡充していきます。



## 事業概要

鉄道、自動車、海運や航空などのさまざまな輸送モード、NXグループ各社を含めたグローバルに広がるネットワークを駆使し、安全・品質・コンプライアンスへの高い意識とお客様第一の姿勢を持った社員がお客様に最適な物流サービスを提供しています。さらに、日本国内トップの倉庫面積を誇る物流センターや実績とノウハウを結集した物流情報システムにより、企業間の物流から引越・移転、美術品や医薬品といった特殊な物品の輸送まで、多様なニーズに最適なソリューションを提供しています。

## 売上収益／セグメント利益の推移



## 戦略と施策

多様な輸送モードとグローバルネットワークを生かして、顧客サプライチェーンの最適化を実現するため、アカウントマネジメントの強化を通して顧客との取引領域の拡大に取り組みます。半導体や医薬品など事業成長が期待される産業領域には積極的な投資による拠点拡充・機能強化を進めています。また、事業基盤の変革や見直し、業務の効率化による生産性向上によって、持続的な成長を目指します。ニーズが集中する東名阪大都市圏での営業を強化するとともに、地域の主要顧客のニーズに応じたサービス提供にも注力しています。

## 2023年12月期業績概況

国内物流が継続して低調に推移し、航空貨物、海運貨物の取り扱いが減少したことに加え、販売単価の下落の影響があり、売上収益は1兆2,565億円、セグメント利益は485億円となりました。

従業員数  
40,981人  
設備投資額  
505億円

## セグメント情報

## 米州

## 2023年度の主な取り組み

## 米国ノースカロライナ州に「ガーナー 2000 医薬品ロジスティクスセンター」を開設

NXグループのMD Logistics LLCは、米国ノースカロライナ州ガーナーに医薬品専用倉庫「ガーナー 2000 医薬品ロジスティクスセンター」を開設し、2023年1月に営業を開始しました。当施設は医薬品物流の高度化・多様化するニーズにお応えするための各種温度管理やセキュリティを兼ね備えた医薬品に特化した倉庫になります。MD Logistics LLCは医薬品物流の豊富な経験を基に医薬品産業のお客様のサプライチェーンをサポートしていきます。

## アリゾナ州メサ市に半導体専用倉庫「メサ・ロジスティクスセンター」を開設

NXアメリカ株式会社はさまざまな産業の先端技術が集まるアリゾナ州メサ市に半導体専用倉庫「メサ・ロジスティクスセンター」を開設し、2023年2月に営業を開始しました。この倉庫は、航空輸送セキュリティTSAに準拠しており、半導体や電子部品の取り扱いに必要な環境要件(温湿度 / 防塵 / 静電管理)を備えた365日24時間体制の倉庫となります。緊急な入出庫にも迅速に対応できる、高品質かつ効率的なオペレーションを半導体産業のお客様に提供します。



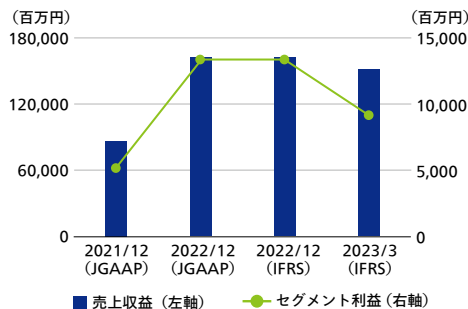
## 事業概要

米国、カナダ、メキシコ、ブラジルに自社拠点を展開するとともに、現地法人を置かない国においても代理店を設置することにより米州全体でサービスを提供し、NXグループのグローバルネットワークを支えています。海上輸送、航空輸送に加えニーズの高いUSMCA締結国(米国、カナダ、メキシコ)間のトラック輸送についてもクロスボーダー輸送体制と倉庫機能を構築し、お客様のサプライチェーンを強力にサポートするロジスティクスソリューションを提供しています。

## 戦略と施策

「NXグループ経営計画2028」では倉庫・配送、トラック輸送事業のさらなる拡大による、事業セグメントのポートフォリオバランスがとれた強靱な事業体を目標に掲げています。自動車・半導体・医薬品産業等を中心に米州域内への製造回帰が進んでいることから、米国内・クロスボーダートラック輸送事業の拡充・拡大に取り組みます。重点産業については、自動車・医薬品産業におけるコントラクトロジスティクスの拡販を推進。フォワーディング事業に関しては、トランスアトランティックレーン、ラテンアメリカレーンの需要獲得にも注力。多角化によりさらなる事業の拡大を目指していきます。

## 売上収益／セグメント利益の推移



従業員数  
3,356人  
設備投資額  
39億円

## 2023年12月期業績概況

倉庫配送は好調を維持しましたが、航空貨物、海運貨物の取り扱いが減少したことに加え、販売単価の下落の影響があり、売上収益は1,512億円、セグメント利益は92億円となりました。

## セグメント情報

## 欧州

## 2023年度の主な取り組み

## NXアイルランド、自社倉庫において GDP 認証を取得

アイルランドは、世界でも有数の医薬品の製造と輸出国となっており、国立バイオプロセス研究研修機関(NIBRT)を中心に多くのライフサイエンス企業が集まっています。また、アイルランドには、世界トップ10の製薬会社が全て進出しており、今後も医薬品に関わるビジネスの成長が見込まれます。今回 GDP 認証を取得した「NXアイルランド コントラクトロジスティクスセンター」は、ダブリン国際空港から約3km、ダブリン港から約12kmの場所に位置しており、航空輸送と海上輸送の両方に適した位置にあります。2℃～8℃(冷蔵)、15℃～25℃(定温)の2温度帯に対応可能な温調施設(2,509m<sup>3</sup>)を完備し、NXグループの国際温度管理輸送サービスと GDP 認証倉庫による一時保管機能を組み合わせ、安全かつ高品質な医薬品物流プラットフォームを提供します。NXグループは、今後も経営計画において重点産業と位置づける医薬品の取り組みを強化し、高度化・多様化する医薬品の物流ニーズにお応えするサービスをグローバルに拡充、展開していきます。

## ライフスタイル・ハイファッション産業への取り組み

アパレル産業への取り組みを強化する中で、特にラグジュアリーファッション分野をグローバル事業の重点対象として進めています。

イタリアを発信基地としたライフスタイル関連ロジスティクス事業の拡大に向けて、これまで2013年に高級ファッションブランドを主要顧客としたフォーディング事業を展開するフランコ・ヴァーゴを買収、2018年には同様に高級ファッションブランドを主要顧客とし、倉庫保管・配送サービス事業を展開するトラコンフの買収を行い、2023年10月には主にイタリアで製造された高級家具を対象に、陸上・海上・航空輸送、ホワイトグローブサービスや保管サービスを展開し、マーケットから高い評価を受けてきた Tramoグループを買収しました。各社のラグジュアリーインテリアに最適な集荷・配送等の機能と、当社の国際間輸送サービスとを連携させることでより高品質なサービスをお客様に提供することが可能になります。



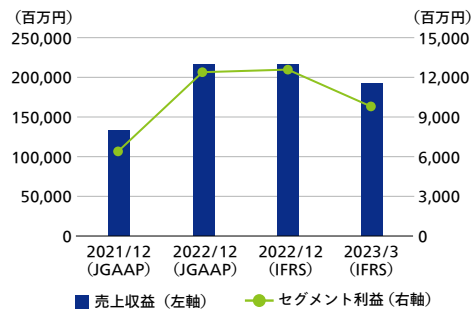
## 事業概要

ドイツやイタリア、オランダなど欧州主要各国、トルコ、アラブ首長国連邦に拠点を展開しています。自動車、半導体、医療・医薬、ライフスタイル産業のお客様を中心に、ロジスティクスサービスを提供しています。

## 戦略と施策

フォーディング分野では競争力のあるプライシングを可能とするスキームの構築と数量増を目指し、顧客分析に基づく営業戦略策定と取り扱い事業領域の拡大(クロス・アップセル)を図ります。ロジスティクス事業では専門人財の増強や最先端技術を駆使したソリューションの開発と販売を強化することに注力しています。域内トラック輸送事業の拡大や、北欧・アフリカでの事業の展開など未開拓エリアや未進出分野への事業拡大にも取り組んでいきます。その他 CSRD、CSDDD 等欧州における企業の社会的責任への新たな法令・制度への対応を適切に実施していきます。

## 売上収益／セグメント利益の推移



従業員数  
4,287人

設備投資額  
47億円

## 2023年12月期業績概況

航空貨物、海運貨物の取り扱いが減少したことに加え、販売単価の下落の影響があり、売上収益は1,926億円、セグメント利益は98億円となりました。

## セグメント情報

## 東アジア

## 2023年度の主な取り組み

## NXグループの東アジア地域における知名度の向上による、中国国内物流事業の拡大

東アジアリージョンは、上海で開催される国家級イベントである「中国国際輸入博覧会(CIIE)」に2018年の初回開催以降、6年連続で出展しました。また、中国で初めてサプライチェーンに特化した展示会として注目を集めた「中国国際サプライチェーン促進博覧会(CISCE)」に初出展し、東アジアの中でも最も巨大な消費市場を持つ中国における当社のサービスを紹介し、NXブランドの浸透を図りました。



## 中国国内の2法人(NX国際儲運有限公司、NX国際供給管理(上海)有限公司)で自動倉庫を導入

ロジスティクス事業を中心に展開する中国国内の2法人では省人化および保管能力やピッキング効率の改善を目的に順次自動化設備の導入を進めています。

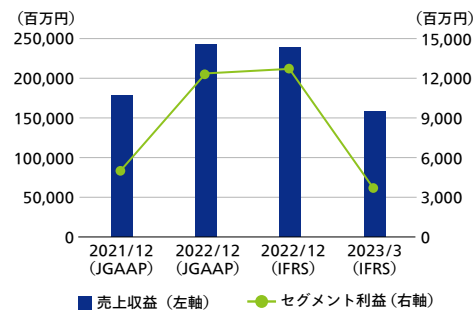
AGV、自動ソーター、ラベラーなど複数の自動化設備を組み合わせた自動倉庫の設計を行っています。また、今後、高温多湿環境下における倉庫作業など作業員の負荷が高い作業における遠隔操作ロボットの導入等、労働環境の改善にも取り組んでいきます。



## 事業概要

中国・香港・台湾・韓国の東アジア地域に拠点を展開しています。内需の規模が大きい中国では主要都市を結ぶ幹線輸送および都市内の自動車配送網と、各地に展開する倉庫拠点を活用し、家電・自動車部品の調達物流、雑貨・衣料品の販売物流など国内物流を展開しています。また、医薬品物流に対する需要の高まりに合わせ、GDP認証の取得や温度管理輸送サービスの拡充に専門支店を設けて取り組みを進めています。経済連携の強化により域外との貿易が活発化する傾向にある中、欧州、中央アジア向けの鉄道輸送に加え、東南アジア地域とのクロスボーダー輸送サービスの拡大を進めています。また、海外向けの物量を大きく伸ばすEコマースプラットフォームへの営業拡大、市場調査を強化するため専門的な人財の拡充などの施策に取り組んでいます。

## 売上収益／セグメント利益の推移



## 戦略と施策

強靱な経営体質への変革を方針として、組織の最適化の取り組みを加速しており、香港と中国広東省を含む大湾区( Greater Bay Area)エリアにおいては、2024年1月に大湾区本部を設置し、同エリアに存在する複数のグループ会社、事業会社の垣根を越えた業務の一体運営を実施すべく活動を開始しています。また、同エリアには cargo-partner 社も拠点をもち、欧州向けフォワーディングにおける重要な戦略地域としていることより、協業の推進によるシナジーの創出を図っていきます。

## 2023年12月期業績概況

航空貨物、海運貨物の取り扱いが半導体関連、自動車関連を中心に減少し、販売単価の下落の影響もあり、売上収益は1,576億円、セグメント利益は37億円となりました。

従業員数  
4,500人  
設備投資額  
7億円

## セグメント情報 南アジア・オセアニア

### 2023年度の主な取り組み

#### ベトナム北部・南部に新たなロジスティクスセンター稼働開始

NXベトナム有限会社では2023年5月にベトナム北部バクニン省に「NXイエンフォン・ロジスティクスセンター」、2023年8月にベトナム南部ビンズオン省に「NX VSIP2ロジスティクスセンター」を開業、稼働開始しました。

主にアパレル、電機・電子機器、小売業向けの在庫管理、仕分け、梱包などの対応、およびハノイ市含むベトナム北部地区、ホーチミン市内、ホーチミン近郊への配送拠点としての機能を提供します。

また、いずれの拠点でも輸出加工企業(Export Processing Enterprises EPE)への保税在庫管理サービス提供を可能にしました。



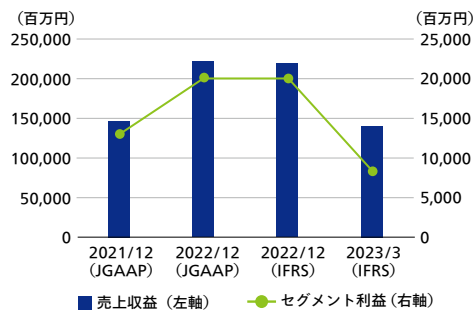
#### 事業概要

シンガポールやタイなどのASEAN各国およびインド・バングラデシュ・オーストラリアなど15カ国に拠点を展開しています。生産市場・消費市場として域内経済が活発化する中、お客様のサプライチェーンを支援するさまざまな輸送サービスを提供しています。医薬品物流に対するGDP認証の取得や温度管理輸送サービス、アパレルや一般消費財の保管・店舗配送サービスなどを拡充。地域最大の経済圏インドでは、自動車関連部品の効率的集約と配送を行うミル克蘭サービスやJIT物流も提供しています。

#### 戦略と施策

成長市場であるアジアでの強固な地盤を強みとするグローバルロジスティクスカンパニーを目指し、事業成長を加速させます。重点戦略エリアであるインドを中心に中東・東アフリカを結ぶ環インド洋貿易圏、バングラデシュとパキстанを含むインド亜大陸のネットワークの拡充を進めています。主力の海空フォワーディング事業では、アジア・インド発着の欧米向けトレードレーンを拡大。また、域内各国の消費市場拡大を捉えた倉庫・トラック事業の拡大を推進します。

#### 売上収益／セグメント利益の推移



従業員数

8,392人

設備投資額

30億円

#### 2023年12月期業績概況

航空貨物は半導体関連の取り扱いが減少し、海運貨物は販売単価の下落の影響を受け、売上収益は1,408億円、セグメント利益は83億円となりました。

## セグメント情報

### 警備輸送セグメント

#### 事業概要

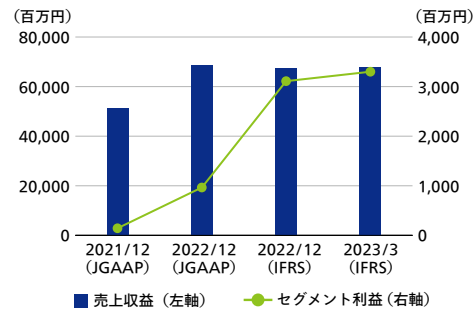
警備輸送事業は、1965年の事業開始以降、貴重品運搬警備のパイオニアとして、現在に至るまで日本国内 No.1のシェアを占めています。

2023年1月にNXキャッシュ・ロジスティクス株式会社を立ち上げました。日本のキャッシュ流通改革を目指し、究極に無駄を省き、合理的でかつ低社会負荷の仕組みを作り上げ、お客様のコスト削減に貢献するとともに、社会にも貢献することでお客様、社会、当社グループの「トリプルウィン」を構築して、「キャッシュ・ロジスティクスプラットフォーム」となるべく、取り組んでいます。

#### 2023年12月期業績概況

設定便の減少等により、売上収益は678億円、各種コスト削減の効果などにより、セグメント利益は33億円となりました。

#### 売上収益／セグメント利益の推移



従業員数  
7,071人  
設備投資額  
27億円



### 2023年度の主な取り組み

5S 3定を基軸とした組織能力の向上に向け、管理者層の全従業員に対し本社主催の5S 3定研修を実施しました。2024年以降も対象を拡げ、実施していきます。

キャッシュ流通事業のシェア拡大による継続して利益を確保できる体制の構築に向け、次の2点の取り組みを実施しました。1点目は、現場オペレーションの可視化・数値化によるさらなる

現場改善を目的として、Core Systemの開発を進めています。2点目は金融機関行内業務アウトソーシングが加速していく状況にあることから、業務獲得に向けた取り組みを強力に推進していきます。

新たな事業領域の拡大については、グループシナジーによる事業領域の拡大の一環として、NXキャッシュ・ロジスティクス株式会

社と株式会社NXワンビシアーカイブスとの協業を開始しました。具体的にはそれぞれの経営資源を有効活用し、輸配送の一元化と、主に金融機関のお客様に向けた新サービスの開発を目的としています。2023年10月からは名古屋エリアでの輸配送の一元化を開始しました。金融機関向けの新サービスの開発については、ターゲットエリアを選定の上、取り組みを推進していきます。

# セグメント情報

## 重量品建設セグメント

### 事業概要

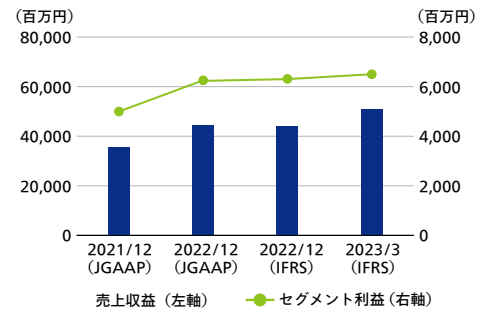
風力発電、火力発電、石油化学プラントの建設工事における設備機器の輸送から据付組立まで、一貫輸送据付サービスを提供しています。その他、半導体製造工場のクリーンルーム内設備といった精密機器の運搬、搬入設置や、高速道路などの道路インフラ設備の更新工事も行っています。

また、環境への配慮から近年需要が高まっている風力発電設備の運搬・据付業務には1999年から本格的に乗り出しており、現在日本国内にある風力発電設備の約70%は日本通運株式会社の重機建設事業部が実施したものです。

### 2023年12月期業績概況

風力発電関連、産業機械関連の取り扱いが堅調に推移し、売上収益は511億円、セグメント利益は65億円となりました。

### 売上収益／セグメント利益の推移



従業員数

946人

設備投資額

31億円



## 2023年度の主な取り組み

### 国内最大洋上風力発電プロジェクトに参画

陸上風力発電設備は、山の稜線に建設されるような場合が多く、長さ40～60mものブレード(羽根)や重さ数十tにもなるナセル(発電機)を、障害物を避けながら輸送するには、高度な技術が必要になります。日本通運株式会社では、専用に独

自開発したトレーラー(ブレード起立装置)や経験豊かなスタッフによる綿密な輸送計画によって、この困難を乗り越えています。また、2023年度は国内最大容量である8.0MW機を導入した洋上風力発電設備事業(石狩湾新港)の業務を受注し、無事完工しました。今後、グローバルな潮流として拡大し

ていく再生可能エネルギーの普及促進の一翼を担うことができよう、高品質かつ安全な作業を徹底し風力発電設備輸送における日本国内トップシェアを維持すべく取り組みます。

## セグメント情報

### 物流サポートセグメント

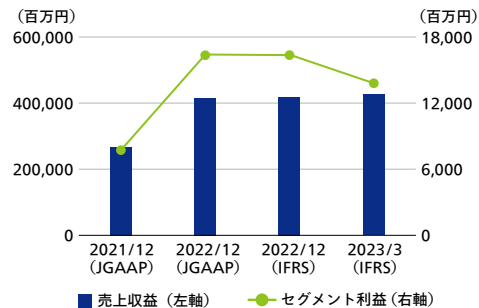
#### 事業概要

物流という本業に関連した、あるいは本業によって広がったネットワークを活用した事業を展開しています。梱包資材から車両、石油・LPガスなど、輸送に欠かせない各種商品の販売、車両の整備、保険代理店業務や、物流ニーズの調査・研究業、ロジスティクスファイナンス事業、労働者派遣業、不動産業などを行っています。

#### 2023年12月期業績概況

整備製作部門の取り扱いの増加等により、売上収益は4,258億円、石油部門やLPガス部門の取り扱いの減少および販売単価の下落により、セグメント利益は138億円となりました。

#### 売上収益／セグメント利益の推移

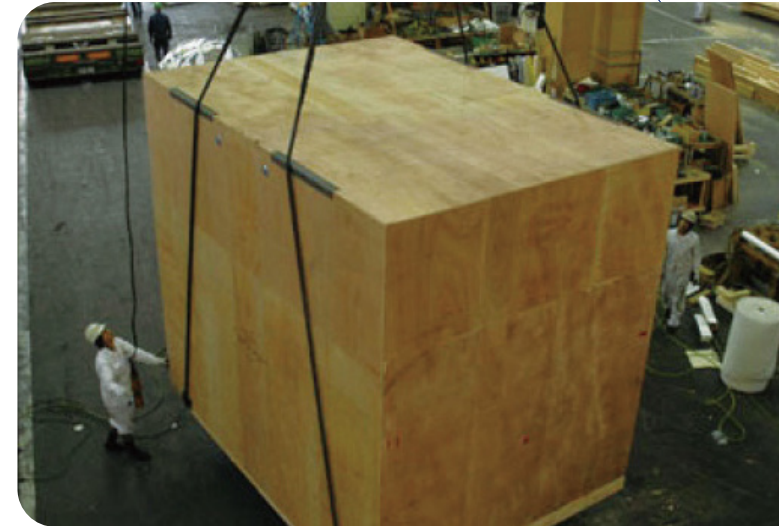


従業員数

4,631人

設備投資額

41億円



### 2023年度の主な取り組み

#### NX商事株式会社、カーボンニュートラルLPガスの取り扱い

脱炭素社会の実現を目指し「カーボンニュートラルLPガス(以下、CNLPG)」の販売を開始しています。CNLPGは、建物のガス空調や給湯、コンロに使われているものです。NX商事株式会社が取り扱うCNLPGは、米国の国際NGO団体が

認証したカーボンクレジットを購入し、LPガスの採掘から燃焼に至るまでに発生するCO<sub>2</sub>をオフセット(相殺)したもので、LPガス使用によるCO<sub>2</sub>排出量を実質ゼロにします。

NXグループでは、サステナブルな社会の実現に向けてCO<sub>2</sub>排出量削減の取り組みを進めており、各拠点で使用するLPガ

スにCNLPGを活用することに取り組んでいます。当社では、オリジナルロゴを作成して供給証明書やステッカーなどに活用し、お客様にCNLPGの幅広い訴求活動を行っています。